

杉田定一 （きしだ じょういち） 政治家。嘉永四年（八月）一日越前國生れ、昭和四年（二月）二十一日歿（八五—一九元）。幼名鶴之介。號鷄山。政治結社白郷社、天真社を創設後、評論新聞の編輯として民権論を鼓吹。明治十一年板垣退助等と愛國社を再興、十四年自由黨結成に参劃。歐米視察後、二十二年衆議院議員（當選九回）、うち北海道廳長官、衆議院議長、貴族院議員等歴任。

著書 『政界革新私見』（談、金崎賢稿、大正八年二月印刷）等。

文献、中村江畔著 『憲政圖 杉田鷄山』（大正五年十一月、二千白福井・名村史法刊）等。

